

## コンビニ深夜営業に賛成



政策情報学部  
政策情報学科  
0840 1 7 1 海老澤 翼

## なぜか？

- 防犯面で非常に有効的。
- 深夜営業を止めたら、そのメリットより、デメリットのほうがはるかに多い。
- 24時間営業を規制するほかにもっと効率のいい方法が考えられるのではないか。

## 防犯・防災上の効果

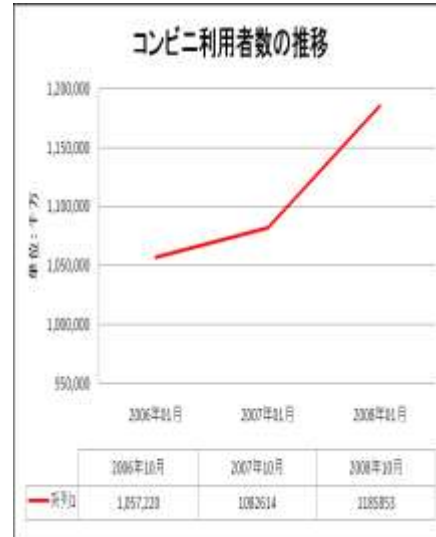
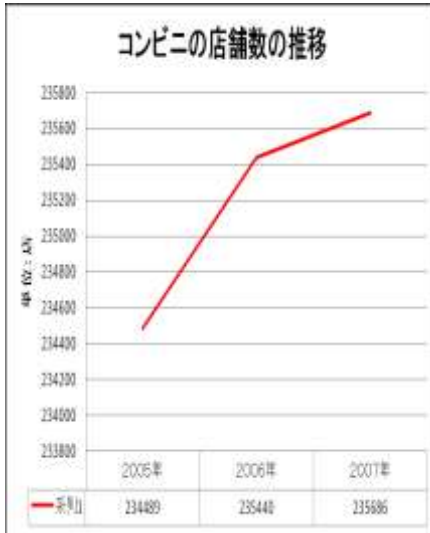
- 24時間営業を行うことで、防犯・防災上の貢献もある。2007年度に女性のコンビニへの駆け込みは1万3000件以上あった。
- 大規模な地震が発生した際にも、ライフラインとして緊急支援物資の提供などを行える。



## コンビニの利用状況

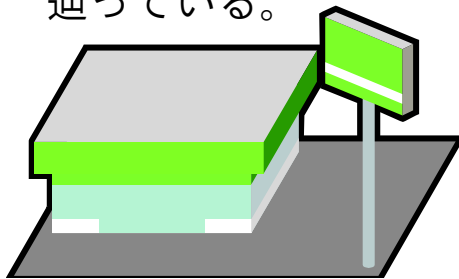
- コンビニエンスストアは全国で4万1559店展開されている。（2008年10月現在）
- 利用者は2008年10月だけでも11億8585万3千人となっており、2007年10月の10億8261万4千人から大幅な増加の傾向を辿っている。

## コンビニ店舗数と利用者の推移



## コンビニ業界の売上

- 売上は2007年10月の621億4万3千3百万円から2008年10月だけでも686億7万6千6百万円不景気な世の中とは裏腹に大幅な増加の傾向を辿っている。



## 営業時間規制にすることによる問題点

- 営業時間規制前の20%程度の売上げ減になると予想される。
- 大量の既存雇用者が失職することになると予想される。



## 24時間営業から16時間営業にすることで得られる効果とは？

- 仮に16時間営業に短縮した場合、冷蔵・冷凍庫は稼働し続けることや、物流が昼間に集中することで効率が落ちCO<sub>2</sub>排出量が増える。よって差し引き4%程度（日本全体の排出量の0.009%）の削減効果しか見込めない。

